

こんにちは 野々市市議会です



総務産業委員会視察

教育福祉委員会視察

和光市における
地域包括ケアシステムの実践
マクロの計画策定と
ミクロのケアマネジメント支援

和光市保健福祉部長
子どもあんしん部審議監
栗内京一

小学校の入学準備支援金の前倒し支給に向けての補正など
平成29年度補正予算および平成28年度決算などを議決、議決一覧

… 2P

予算決算常任委員会ほかで議案審議、人事 … 3P

9月定例会一般質問 8人が登壇 … 4P

子ども議会報告、12月定例会日程など … 12P

※写真は総務産業常任委員会視察（10/11-13）、教育福祉常任委員会視察（10/18-20）の1コマです。
（掲載に当たっては関係者の了解を得ています）

議会だより
15号
2017年(平成29年)

平成29年度一般会計補正予算

小中学校入学準備支援金、 前年12月末頃支給へ

平成29年第3回9月定例会を9月6日から9月27日までの22日間の日程で開会し、栗貴章市長から提出された平成29年度一般会計補正予算をはじめ、平成28年度の一般会計・特別会計など各会計の決算認定を行い、議案16件と報告3件ほかをいずれも全会一致もしくは賛成多数で可決・認定しました。

おもな議案のうち、平成27年9月30日議決した特定事業契約の締結の一部変更するものでは、中央地区の地域中心交流拠点施設の整備敷地を拡張したことに伴い、民間施設であった建物の解体撤去工事などの経費約3億円を追加し、総額87億6,809万402円とする変更を議決しました。

議決結果一覧

平成29年9月定例会			○=賛成、×=反対 ※議長（早川 彰一）は採決に加わりません。															
	議案名	議決日	議決結果	五十川員申	北村大助	馬場弘勝	安原透	宮前一夫	西本政之	中村義彦	杉林敏	金村哲夫	辻信行	早川彰一	尾西雅代	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第49号	平成29年度野々市市一般会計補正予算(第2号)について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第50号	平成29年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第51号	平成29年度野々市市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第52号	平成28年度野々市市一般会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第53号	平成28年度野々市市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第54号	平成28年度野々市市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第55号	平成28年度野々市市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第56号	平成28年度野々市市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第57号	平成28年度野々市市水道事業会計決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第58号	平成28年度野々市市公共下水道事業会計決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第59号	野々市市営住宅条例の一部を改正する条例について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第60号	「特定事業契約の締結について」の議決の一部変更について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第61号	市道路線の廃止について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第62号	市道路線の認定について	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第63号	野々市市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	9月6日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第64号	野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月27日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議会議案第4号	道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議会議案第5号	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議会議案第6号	所得税法の見直しを求める意見書	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議会議案第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書	9月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

各委員会の主な質問と答弁

9月15・19・20・21・22・26日の6日間

予算決算常任委員会・総務産業常任委員会・教育福祉常任委員会

Q ほっと石川観光プラン推進ファンド創設資金貸付金についての詳細をさせ。

A 石川県観光連盟が行っているもので、県も含め県内各市町で事業費200億円を集めるものである。運用益は1年間2億と見積もっている。この運用益を観光連盟の事業や県の各種事業に割り振るもので、野々市市においても約1億3,500万円の直接使える利息分のうち、全国椿サミット開催費用として120万円が補助金として交付されている。

Q 新入学児童生徒の入学準備支援金の支給はという段取りになっているのか。

A 保護者への周知は、9月下旬から10月中旬にかけて行われる就学時健診のときに保護者にチラシと申請書を配布し、10月末日まで受け付けをして、12月末には支給できる予定である。



120万円の運用益において「おもてなしテント」を設置
(今年3月本市にて開催の全国椿サミット)

Q 中央地区整備事業にかかわり、民有地の建物移転にかかわる建物補償の費用をさせ。

A 物件移転補償契約は総額で7億円余りである。その内、引越越し費用や、工作物の移転料などを除いた、建物の移転補償費は6億4,000万円余りである。

Q 提案型協働事業の事業費決算額が100万円ちょうどになっているが、内訳をさせ。

A 提案型協働事業においては、限度額いっぱい20万円各団体が申請してきている。平成28年度は、7件の補助を行っている。1、2位の団体には18万円を、3、4位の団体には17万円を、5位に13万円、6位に9万円、7位に8万円を補助した。

Q 敬老会を午前の2地区、午後の2地区と、2回に分けて開催する必要があるのか。

A 関係者とも相談・調整の上、見直しを検討していきたい。

Q 喜多家住宅調査事業の目的は何か。

A すでに母屋と道具倉が重要な文化財指定となっている。今調査しているのは母屋の裏側に続く酒造関係の施設である。市は国の重



要文化財指定に向け調査している。

人事

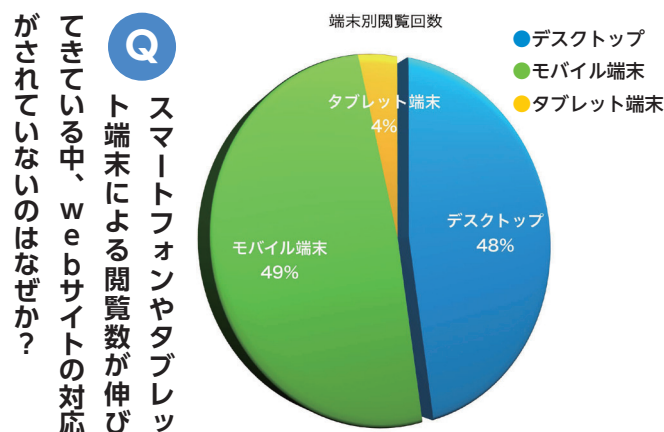
野々市市公平委員会 委員
小島 邦雄（押越1丁目）
野々市市教育委員会 委員
安嶋 是晴（本町2丁目）



五十川 員申 議員

利用者に優しい web サイトに変更せよ

できれば来年度に実施できるのが望ましいと考えている



A 企画振興部長 ● 平成28年度における本市webサイトの総閲覧回数は62万380回で、閲覧回数は毎年伸びてきている。端末別では、デスクトップなどのパソコンからは29万5,214回、スマートフォンなどのモバイル端末からは30万1,371回、タブレット端末からは2万3,795回となっている。

Q 本市webサイトの端末別閲覧者数は？

webサイトのスマートフォン、タブレット対応せよ

Q スマートフォンで野々市市のホームページを訪れる人、パソコンを使って野々市市のホームページを訪れる人、見ようとする情報が違う。これもweb訪問者の解析を行っているのです。把握していると思うが、利用端末によって、webサイトのメニューの順番や必要としている情報のサイズを変える

A 企画振興部長 ● 平成26年、27年度あたりからスマートフォンでの閲覧がふえてきているという現状は把握している。また、対策が必要だという認識はある。今現在のホームページ作成システムは、平成21年4月に導入したもので、スマートフォン用のページをつくれるシステムではなかった。しかし、平成27年度にバージョンアップをし、スマートフォン用のページをつくれるシステムにはなっている。パソコン用のページとは別にスマートフォン用のページをつくらなければならないシステムなので、対応には全部ページを改めて作り、またメンテナンスもパソコンのページとスマートフォン用のページも同時にメンテナンスする必要がある。その為、なかなか対応ができなかった。

A 総務部長 ● 万が一の災害時における防災対策のマニュアルなどについては、これまでも機会あるごとに関係するいろんな方々のご意見やご提案を反映しながら、必要な改善や見直しをこれまでも行ってきたところでございます。

Q 今年の防災訓練から新たな取り組みとして市民による避難所開設、運営、撤収が行われました。緊急時、スムーズに運営できるようマニュアルや、道具をデザインを見直す事でより使いやすくせよ。

災害時に利用するもののデザインを見直せ

A 企画振興部長 ● 次年度以降については、そういったあらゆる選択肢を十分調査研究しながら進めていきたいというふうに思っております。

Q 次年度の予算にこのスマホもしくはwebデザイン、皆さんの見やすい、市民の皆様が訪れたときに少しでも見やすいwebサイトのデザインに変わることをお願いしました。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/fdRFQI>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



北村 大助 議員

野々市市立地適正化計画の観点から JR 野々市駅周辺エリアはプロポーザルで広く立案を求めるべき

事業計画の段階で公募型プロポーザルなど、民間活力を用いた事業方式の検討は必要である

A 市長 ● 具体的に事業化に向けて計画が進むような時が来たら庁内横断的な組織を検討すべきと思っています。時期が来たら検討させていただきたい。

Q 駅前には行政の所管が複数にまたいでいる。時間がかかろう。プロジェクトチームといましようか、連携する専門の部署が必要ではないか。

A 産業建設部長 ● JR野々市駅周辺エリアは利便性の高い都市機能誘導区域に設定している。誘導すべき複合施設の整備については、官民問わず幅広く事業展開されることを想定している。民間活力を用いた事業方式の検討は必要である。

Q 野々市市立地適正化計画では「行政機能・商業機能のいずれかを核とした複合施設を誘導施設とします」と明記してある。計画段階から公募型プロポーザルで広く立案を求めるべきだ。

JR野々市駅周辺 魅力的な駅前商業地形成について

A 建設産業部長 ● 本事業は平成27年度に基本構想を策定した。中央公園に体育施設を拡張する目的もあり、今後は、体育施設整備基本計画の方針に基づき検討される具体的な体育施設の決定を反映して、拡張の事業計画策定をしたい。

Q 建設産業部長 ● 本事業は平成27年度に基本構想を策定した。中央公園に体育施設を拡張する目的もあり、今後は、体育施設整備基本計画の方針に基づき検討される具体的な体育施設の決定を反映して、拡張の事業計画策定をしたい。

Q この計画は大変大事な計画だ。計画策定の進捗具合を含めたタイムスケジュールを示していただきたい。

A 建設産業部長 ● 本事業は平成27年度に基本構想を策定した。中央公園に体育施設を拡張する目的もあり、今後は、体育施設整備基本計画の方針に基づき検討される具体的な体育施設の決定を反映して、拡張の事業計画策定をしたい。

野々市市中央公園拡張計画の進捗状況について

Q 中央公園拡張計画の周辺一帯エリアの将来像は市長にとつてどのように映っているのか。

A 市長 ● 中央公園の周辺一帯エリアは、健康・交流・防災をテーマとした新たな拠点整備を図るとともに、地域内の積極的な緑の創出により、うるおいのある環境共生型の地域づくりを目指している。そのため、西部中央土地区画整理事業による健康・医療・福祉をテーマとした計画的な都市基盤や住宅地を整備するとともに、墓地公園の整備により定住化促進を目指します。また、スポーツ・レクリエーション活動の普及と振興を目的とした体育施設の拡充を図るため、野々市中央公園を拡張することで、「みんなに選ばれるまち」として一翼を担う新たな市街地として形成されるものと思っている。市内外から訪れる多くの方々の歓声や賑わいの声が響き渡り、健康で笑顔と活気にあふれる人々の姿を思い浮かべています。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://goo.gl/uvBHWm>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員

小学生まで「のっティ」運賃を無料に

来年の夏休みに向け、子どもたちが利用しやすい方法を考えていきたい

A 企画振興部長 ●小学生の無料乗継券と2つの無料乗継券が混在する事態になることは指摘のとおりだと思ふ。来年の夏休みに向けて、丁寧な説明で解決が難しいということになれば、無料乗継券ではなく、無料券という形、また券を使わない



のっティ小学生無料乗継券

Q 小学生の夏休み期間限定の「のっティ」無料乗継券を無料乗車券と混在している子どもがいるのではないかと心配していたが、実際に複数いたこと報告されている。来年の夏休み期間には、カレード限定の乗継券と2つの乗継券が生じるということになり、子どもにとっては大変複雑なことになるのではないか。この際、野々市市の将来を担う子どもたちへの投資と考え、小学生まで「のっティ」運賃を無料にする考えはないか。

A 総務部長 ●公共交通無料パスなども、運転免許証の自主返納を支援するためのインセンティブの一つになるものとは思いますが、まずはこれまで取り組んできた交通安全対策を広げていくことが大事だと思っている。

Q 高齢者の自動車運転免許証の自主返納が進まないのと合わせ、回数券が使われない理由の一つに、広域的に公共交通機関を利用できる仕組みになっていないことも考えられるのではないか。対応策として、一定期間と範囲を限定した広域的公共交通機関、JR、IR、私鉄、コミュニティバスを利用できる「公共交通無料パス」の発行が有効と考えるが、市として実施する考えはないか。あわせて、県に対して、県内市町各関係機関、事業者への働きかけと調整を積極的に行うとともに、財政的支援を求めていく考えはないか。

Q 教職員の長時間過密労働解消に向けた負担軽減策について、文科省の教育審議会特別部会は、タイムカードを使った勤務時間の管理や、事務作業を代行する専門スタッフの配置などを盛り込んだ緊急提言をまとめた。これを受けて、文部科学省は、来年度予算の概算要求にあわせて具体的な対応の検討を進めるとされている。また、教員組合からの政策提言もあり、県議会でも議論が行われている。この間、市教育委員会の正式な議題にすることを求めてきたが、正式な議題として審議されたことはあるか。様子見にならないで、教員組合から意見を聞くことも含め、正式な議題として審議することを求める。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/TS6hea>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



辻 信行 議員

住宅改修制度の上乗せ制度に、本市独自として浴室洗面台設置を加えてはどうか

入浴に関する支援については様々なサービスが提供されているので給付対象の拡大は考えてない

A 健康福祉部長 ●市が実施しております上乗せ助成につきましては、県の助成制度に準じて実施しており、20万円を超えるリフォーム工事に対して、生活保護世帯及び住民税非課税世帯を対象に、最大100万円までの助成を行っているところです。入浴に関する支援については、手すりの設置や段差の解消等の住宅改修はもちろんのこと、福祉用具の入浴補助用具の給付や、ホームヘルパーや入浴車による入浴の介助、デイサービスでの入浴等の様々なサービスが提供されてい

Q 団塊世代から以前の住宅では、浴室洗い場は鏡の前に石鹸シャンプー台がほとんど洗面台は付いていないのが現状だと思えます。要介護認定者には、洗い場床に置く洗面器を前かがみでの使用は腰に負担がかかり大変使いづらいものです。市では住宅改修上乗せ助成制度がありますが、まちづくりの基本目標に「高齢者と障害のある方の福祉の推進」を掲げているところであり、安全で住みやすい住まいにするためにも、洗面台設置を本市独自の助成制度の項目に加えていただきた

A 教育長 ●5・6年生でも外国語活動から外国語科へと教科になり、年35時間、授業時間が増えることになり、学校長の意見も聞きながら、対応してまいりたい。本市においては平成13年度から小学校に2名のALTを配置し、授業の充実に努めてきました。この度の改訂で英語が教科になったことにより小学校から中学校へと一貫した学びが一層重視されることとなりますので、平成32年度の全面実施に向け、英語能力の向上のため、本格的に準備を進めてまいりたい。

Q 2020年以降に実施される小中学校の次期学習指導要領では、小学5・6年で初めて教科となる英語では活字体験を学び、簡単な表現でやり取りする能力を身に付けることを目標に設定する一方、授業時間増加に対応するため短時間授業や夏休み短縮などの実施を提言とありますが本市の取り組みについて伺う。

Q 2015年版防災ハンドブック、くらしの情報ガイドタウンページ等で、災害に備える・災害が起こったら・どこに避難したらいいのか、などの情報には地域の危険度マップなど詳しい内容が記載されていますが、いずれの情報誌においても、全体的に文字が小さく、イラストも少ないように思います。次回改訂版では、避難所共通ルールもハンドブックに記載してはいかがでしょうか。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/9Bp8PJ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西本 政之 議員

保育士の労働環境を調査し、問題があれば是正を促せ

相談があれば調査を検討したい

Q 昨年、公立小中学校に看護師を配置する国の補助事業が創設されたことを受け、本市でも補正予算に看護師の人員費が計上された。しかし、中身は週に一日程度の派遣ということで、保護者の負担はまだ大きい。金沢市では現在、医療的ケアが必要な児童生徒が4名いる中で、8名の看護師を雇用して対応している。本市でも、終日看護

学校看護師の配置の拡大について

A 健康福祉部長 ●公立保育園については長時間勤務や法令違反となるようなサービス残業の報告は受けていない。法人保育園についても、労働条件・労働環境の確保については十分担保されていると考える。長時間労働などの相談は現在のところないが、そのような情報があれば調査を検討したい。

Q 公立保育園の保育士の勤務状況は把握していると思うが、長時間勤務やサービス残業はないか。また、法人保育園の保育士については把握しているのか。していないのであれば調査し、問題があれば是正を促せ。

A 健康福祉部長 ●公立保育園については長時間勤務や法令違反となるようなサービス残業の報告は受けていない。法人保育園についても、労働条件・労働環境の確保については十分担保されていると考える。長時間労働などの相談は現在のところないが、そのような情報があれば調査を検討したい。

Q 今年の議会3月定例会において、本市の総合基本計画の中の結婚に対する取り組みが弱いという質問をした。金沢工業大学プロジェクトデザインⅡの研究テーマとして支援策を提案するという答弁をいただいた。くしくも、9月10日の新聞に、県内で結婚支援事業を実施していないのが、野々市・珠洲・川北・内灘の4市町であると報道された。金沢工業大学プロジェクトデザインⅡとの連携はどこまで進んでいるのか、進捗状況や具体的な支援策を伺う。

結婚支援について

A 教育文化部長 ●保護者から支援をしてほしいという要望もいただいている。対象となる子どもが安心して学校生活を送り、さらに保護者の負担軽減が図られるよう考えていきたい。また、金沢市の実態も踏まえて、いろいろなことを研究し考えていきたいと思っている。

A 市長 ●本年4月に地域連携テーマの一つとして、市の状

防災対策について

Q 北海道千歳市では、災害時に最低限必要な防災資機材を23品目選定し、各町内会に配布している。この取り組みを参考に、本市でも配布すべきと考える。

A 総務部長 ●本市には、防災資機材を購入するに当たって、その経費の一部を助成する制度がある。今後も現在の制度で運用していきたい。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://goo.gl/7M47gU>



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



馬場 弘勝 議員

コミュニティサイクルの導入を検討すべきではないか

今後、可能性調査を行い、その結果を踏まえて、試験実施を目指したい

Q 自転車活用推進法が今年5月に施行された。コミュニティサイクルとは、市内にいくつもの自転車の共同利用のための貸し出し拠点を整備し、利用者がどこでも返却できるという交通手段である。コミュニティバスのもつティに加えて、コミュニティサイクルの導入を検討すべきではないか。

コミュニティサイクルの導入を検討せよ

A 市長 ●コミュニティバスのもつティは、45分で周回しているため、目的地にまで多少時間がかかる場合もある。この課題を解決する方法の一つとして、コミュニティバスのつティの結節点や主要な公共施設で自転車を出し出し、どこでも返却できれば、移動手段が多様化し、より本市のコンパクト感を実感していただけのもと考えている。

また、文化交流拠点施設が開業し、地域中心交流拠点施設の整備が完了すれば、市外からの来訪や観光で見えになる方々も増え、これに自転車などの移動手段が増えれば、賑わいがさらに市内に広がるものと期待される。こうしたことから、コミュニ

基本理念

1. 自転車は、二酸化炭素等を発生せず、災害時において機動的
2. 自転車依存の低減により、健康増進・交通混雑の緩和等、経済的・社会的な効果
3. 交通体系における自転車による交通の役割の拡大
4. 交通安全の確保

自転車活用推進法の概要
(平成 29 年 5 月 1 日 施行)

↓

自転車の活用を総合的・計画的に推進

自転車ネットワーク計画の基本方針を示せ

Q 自転車ネットワーク計画とは、安全で快適な自転車通行空間を効果的に整備することを目的に、自転車専用通行帯や車道混在といった路線の整備形態等を示した計画である。これから策定する本市の自転車ネットワーク計画は、どのような基本方針なのか。

ニティサイクルやレンタサイクルの導入については、今後、可能性調査を行い、その結果を踏まえて、試験実施を目指したいと考えている。

災害時における受援計画を策定し、訓練を実施せよ

Q 災害時には、様々な枠組みによる支援の全体像を把握し、人的・物的支援の効率的な配置・配分をしなければならぬ。業務担当窓口とは別に「受援班」を組織内に明確に位置付け、本市の実情に合わせた受援計画を策定し、訓練を実施していくべきではないか。

A 市長 ●現在、石川県が受援計画を策定中である。今後、県の計画等を参考にしながら、本市の受援計画の策定や、その計画に基づく訓練の実施を検討していきたい。

A 市長 ●大学連携制度を活用し、策定作業に必要な自転車交通のアンケートや、自転車関連事故に関する調査を、昨年度と今年度の2箇年に渡り、金沢工業大学プロジェクトデザインⅡの研究テーマとして実施している。これらの研究資料を活用し、今後は本市において、自転車交通量調査や現地踏査なども行い、「本市の交通事情に応じた、安全で快適に移動できる」ことを基本方針とし、策定したい。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://goo.gl/CCNwrP>



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



安原 透 議員

来年3月のＪＲ野々市駅開業 50 周年の節目を迎え、開業の苦労や思いを後世に伝える記念事業の予定は？

ＪＲ野々市駅 50 周年を迎えるに当たり、地元の要望に応え、盛大に記念事業を開催できるような限りの協力、支援をしていきたい

Q ＪＲ野々市駅が供用開始されて 50 周年を迎えるに当たり、地域住民の多大な努力によって本市のまちづくりの発展の礎になっているということを改めて振り返り、これを機に、市民協働の原点とも言えるべきこの事業を子どもたちや次の世代に語り継いでいくことが本市のまちづくりを進める最上位の計画である第一次総合計画にもある「市民協働の意識の醸成」にもつながるものとする。

A 放現在のＪＲ野々市駅は、昭和 30 年代から、当時の日本国に有鉄道に対して、地元住民の皆様を中心に全町一丸となって働きかけて誕生した請願駅である。この野々市駅の設置は、当時の野々市町と地元町内会が一体となって取り組んだ、まさに市民協働の先駆けとも言えるものである。

駅南口広場には先人の皆様方による駅整備の沿革を示した石碑があり、改めて当時のご苦労に深く感謝するものである。

その後の本市の発展には、野々市駅の存在が大きく寄与していることは皆様ご承知のとおりであり、こうしたことから、請願駅の誕生の経緯は後世に語り継ぐべき大変意義あるものと考えている。

このような趣旨から、ＪＲ野々市駅 50 周年を迎えるに当たっては、既に地元町内会から記念事業を行いたいというご要望もいただき、ＪＲ野々市駅の歴史を次の世代に伝えたいという思いが、まさに市民の皆様から沸き起こっていることを大変うれしく思っている。

地元では、既に花と緑ののいち椿まつりと合わせて盛大に記念事業を開催できるよう、実行委員会を組織化する準備を進められていると聞いているが、市としてもできる限りの協力、支援をしていきたいと思っている。この取り組みを契機に、ＪＲ野々市駅の 50 年の歴史を振り返るとともに、これからの駅周辺の活性化を市民の皆様とともに考え、市民協働の舞台として、さらなる発展を目指す。今後、国や県、関係団体の意向も踏まえ検討してまいります。差別のないやさしい社会となる施策については積極的に取り入れたいと思っています。

Q 通学路における児童生徒の安全確保については、状況は常に変化してきており、継続して安全確保に取り組んでいくための重要な課題になると思われる。

そのことを踏まえ、野々市市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路の児童生徒を守る安全点検と対策について、今後の考え方と計画について、栗市長のご所見を伺う。

A 野々市市通学路交通安全プログラムであるが、平成 26 年度から通学路の安全を確保するために、学校のみならず、地域や道路管理者、警察など関係機関が連携して継続的な取り組みを行ってきている。今年度も 8 月までに合同安全点検を終えており、9 月末に通学路安全推進協議会で対策を検討する予定としている。

今後ともこれまでの対策の実施状況と効果を適切に把握し、対策の改善、充実の検討など、通学路の安全確保に向けた継続的な取り組みを行うとともに、区画整理事業などに伴う道路事情の変化や車の流れの変化の対応箇所については、特にきめ細かく対応していききたいと考えている。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PC からは、 <https://goo.gl/BpSE6T>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



大東 和美 議員

東京発の「ヘルプカード」で外から見えない障害をカードで可視化「心のバリアフリー」社会の推進

石川県では、平成 19 年 3 月の能登半島地震を契機にヘルプカードを石川県肢体不自由児協会が作成し、本市でも、賛同し周知を図っている



石川県では「能登半島地震」を契機に石川県肢体不自由児協会が作成（保護者のデザイン 平成 29 年 9 月現在）

Q 今年 3 月政府は、7 月よりピクトグラム（絵文字）の国内規格に追加を決めました。本市の今後の取り組みについて伺います。

A 市長 ● 保護者が作成した人と人が支え合っているオリジナルのマークがデザインされて石川県ではこのカードの普及を県の公報で周知しているところです。本市でも、県の趣旨に賛同し、カードの案内パンフレットを窓口を設置し、障がい者手帳を交付する際や更新時に周知を図っている所であり、東京発が作成したヘルプカードは内部障害等外見ではわかりにくい障害をお持ちの方に配慮したものであり、重要と考えています。

Q 大規模な自然災害現場に職員を派遣する意義と今年の防災訓練等の結果から、今後の課題について伺います。

A 総務部長 ● 職員の被災地での体験が、避難所に配備する



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PC からは、 <https://goo.gl/W94Qx4>

備品の見直し、被災地での健康管理や相談業務での経験が本市の地域福祉計画へ反映された。今年の防災訓練の課題は現在洗い出しをしているところです。

Q 空き家対策には、担当課の枠を超えた横断的な組織づくりについて伺います。

A 総務部長 ● 空き家等の利活用については住宅セーフティネット制度の改正に伴い住宅支援の強化が図られることから、これから研究していくことになります。

Q 新たな住宅セーフティネット制度について

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

館野小学校の 6年生が

議会を体験



※下記の質問は子ども議員の質問からの抜粋です。

私たちは、子ども憲章第1章に「自分から元気よく笑顔であいさつができる」と定められているとおり、あいさつ100点満点の館野小学校を目指しています。
館野小学校では、たくさんの人に自分から挨拶することを大切にしています。

みんなの役に立つ行動ができるようになるために、委員会活動に取り組んでいます。
野々市市をより綺麗にするために、街ぐみ美化清掃の回数をもっと増やさせませんか。

思いやりの心を持ち、人と人とのつながりを大切にすることを目指し、2つの学年がペアとなって活動する取り組みを行っています。
相手に感謝を伝える「キラキラ言葉デー」を月一回設定してはどうかと提案します。

私たちの学校では、全校で読書をする取り組みや、「ののいち読書100選」を全学年に用意するなどの取り組みを行っています。
新しい市立図書館の特徴や、今ある図書館との違いを教えてください。



地域の伝統を大切にするためにも、市の伝統を学べるスクールを開催してはどうでしょうか。
また市内の歴史を学ぶためにスタンプラリーを開催してはどうでしょうか。

子ども憲章の制定以来、子ども議会が開催されていますが、これで市内小学校5校全校での実施を終えました。各小学校の児童からは良かった、まちづくりへの理解が深まったなどの感想をいただいています。

市議会では、次年度以降の展開に向け議会運営委員会などの場で、これまでの実施内容の反省も踏まえたうえで、より子どもたちが議会や市政に興味・関心を持っていただけるような内容・手法を検討していきます。



議会傍聴に記名が不要となりました。
お気軽に傍聴をお願いします

- ▼期間 12月5日(火)～
12月21日(木)17日間
- ▼開会 5日(火)午前10時
- ▼一般質問
12日(火)・13日(水)両日とも
午前9時30分から
- ▼予算決算常任委員会
14日(木)・20日(水)午前10時から
- ▼総務産業常任委員会
15日(金)午前10時から
- ▼教育福祉常任委員会
18日(月)午前10時から
- ▼閉会 21日(木)午後2時から

平成29年12月定例会の
日程が決まりました